

科目番号		54021	分類	専門科目 保健医療福祉政策論	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年	
科目名	公衆衛生関連法規 (Domestic Law in Public Health)							1	
								担当セクター	
								前期	
担当者	○永井 智子			区分	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要】 日本国憲法を始めとして、公衆衛生看護の分野に関連した法律や制度について学び、保健師として地域づくりを推進するために必要な法制度に関する知識を習得する。 【目標】 ・公衆衛生看護に関連する保健医療福祉行政の基本理念や国・自治体の責任を説明できる。 ・公衆衛生看護に関連する法や制度の歴史的変遷について説明できる。 ・公衆衛生看護に関連する法の背景にある社会構造を説明できる。 ・保健師が対象とする地域住民の多様性を理解し、法が住民の生活に与える影響を考え、支援を提案することができる。							○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
								2.地域住民の自立を支える統合的支援能力	
								3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
								4.政策や保健事業を開発する能力	
								5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力	
								6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第 1 回	公衆衛生の歴史								永井
第 2 回	公衆衛生関連法規に関連する社会的背景と衛生指標								
第 3 回	日本の公衆衛生システムと関連法規								
第 4 回	親子保健に関連する法律と歴史的変遷①								
第 5 回	親子保健に関連する法律と歴史的変遷②								
第 6 回	成人保健に関連する法律と歴史的変遷								
第 7 回	高齢者保健に関連する法律と歴史的変遷①								
第 8 回	高齢者保健に関連する法律と歴史的変遷②								
第 9 回	精神保健に関連する法律と歴史的変遷								
第 10 回	障害・難病保健に関連する法律と歴史的変遷								
第 11 回	社会保障制度と生活保護								
第 12 回	災害・感染症に関連する法律と歴史的変遷①								
第 13 回	災害・感染症に関連する法律と歴史的変遷②								
第 14 回	公衆衛生関連法規と保健師活動								
第 15 回	公衆衛生関連法規と保健師活動								
事前・事後学習	事前学習：授業は学生のプレゼンテーションを中心に展開するため、事前に指定された課題についてまとめておくこと。 事後学習：配布資料を復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。								
評価の方法	授業への参加度 30%，筆記試験 70%から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								

参考図書 ・資料等	◎平野かよ子, 山田和子, 曾根智史, 守田孝恵 編集 ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生第5版 メディカ出版 ◎増田 雅暢, 島田 美喜, 平野 かよ子 , 編集 ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障 第6版 メディカ出版 参考図書・資料等は適宜紹介する。
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。